

第4回四万十町庁舎建設調査審議委員会
まとめ

【開催日時、場所、テーマ、進行】

日 時：平成22年10月28日（木）13：30～16：30
場 所：四万十町窪川四万十会館 多目的室（会議室）
テーマ：窪川駅西・東複合案の施設配置計画ワークショップ
進 行：13：30 町事務局より
13：35 はじまりのあいさつ（会長）
今日の進め方の説明
13：40 今までのワークショップの結果と課題
ワークショップの実践方法
14：00 ワークショップの実践
15：50 各グループの発表
16：20 まとめ
16：30 おわり

【成果目標】

- 1）施設配置（ボリューム）、外部空間（外構）計画、景観計画の学習
- 2）アイデアの多様性の認識
- 3）出来ること、出来ないことを知る

【進行の様子】

四万十町役場事務局と大谷会長のあいさつの後、前回までのワークショップの振り返りと、今回のワークショップの内容と進行について説明が行われました。



1) 今回のテーマは、”窪川駅西・東複合案の施設配置計画ワークショップ”です。各グループで、窪川駅西・東複合案について、併設したい施設の配置とボリュームなどの意見を出し合い、ワークシートにまとめました。



2) 窪川駅西・東複合案のなかで、他のグループがどのような施設配置のアイデアを出したかを知るために、グループごとに内容を発表しました。



※各グループの発表の内容は、6～7ページをご覧ください。

【前回までのワークショップの振り返り】

1) 第1回審議委員会の結果より

以下の表の内容に沿い、説明を行いました。

チーム名		スローガン
A	四万十じゃんといごっそうチーム	住民のための庁舎
B	しばてんチーム	町民にとって身近で、やさしく、頼れる庁舎
C	おじんチーム	町民に愛される庁舎
D	楽しまんとチーム	元気でやさしく目立つ(ランドマーク)庁舎
E	茂串町内会チーム	みんなの庁舎

2) 第2回審議委員会の結果より

導き出された結果を、以下の資料の内容に沿って説明しました。

■第2回ワークショップの結果と課題・事業費等の概要

順位	課題	図	事業費(単位:万円)		備考
A 現庁舎地 57.8点	- 敷地が狭い - 進入路両側の用地買収が必要 2年間仮設庁舎の使用が必要		A 1 (町有地取得、敷地造成)	4,340	●現庁舎地に仮設庁舎を建設する場合
			A 2 (進入道路用地取得、建物補償、造成)	1,820	
			A 3 (仮設庁舎用地取得、仮設建物)	15,980	
			A 4 (地下駐車場)	53,000	
			合計	75,140	
B 窪川駅西側 73.2点	- 敷地に奥行きが狭い - 自動車交通の集中により、駅前が混雑する可能性がある		B 1 (町有地取得)	0	●NTT横の町有地に隣接するJA・JRの土地を取得し、新庁舎を建設する場合
			B 2 (JR・JA所有地取得)	4,110	
			B 3 (地下駐車場)	66,000	
			合計	70,110	
C 窪川駅東側 72.6点	- 土地取得に費用が必要 - 軌道上に高架橋の建設が必要 - 前面道路から建物が見えにくい		C 1 (JR・JA所有地取得、建物補償)	41,360	●駅東側のJAとJR、民有地を取得し、新庁舎を建設する場合
			C 2 (地下駐車場)	28,000	
			合計	69,360	
D 緑林公園 80.2点	- 中心市街地から遠い - 緑林公園の新しい駐車場が必要 - 新たな交通網の整備が必要		D 1 (町有地取得、敷地造成)	22,960	●緑林公園の駐車場を含み周辺を整備し、新庁舎を建設する場合
			D 2 (進入道路用地取得、造成)	22,840	
			D 3 (公園駐車場用地取得、造成)	20,100	
			合計	65,900	

●結果として、駐車台数の確保や木造庁舎の可能性などの点で、敷地面積に余裕があるDの“緑林公園”の評価が高くなりました。しかし、緑林公園は、市街地と直接結ぶ新たな道路建設や市街地とのアクセスバスの運行が前提となっており、はじめて候補地として適切です。また、次に評価が高かった窪川駅西側と、その次に評価が高かった窪川駅東側の候補地は、両方が使えると、お互いの問題点が解消されるといえます。

凡例

- ...町有地・県有地等
- ...私有地・民有地等
- ...進入道路用地
- ...駐車場用地
- ...仮設建物

●駐車台数の確保や木造庁舎の可能性などの点で、敷地面積に余裕があるDの“緑林公園”の評価が高くなりました。しかし、緑林公園は、市街地と直接結ぶ新たな道路建設や市街地とのアクセスバスの運行が必要であると考えられます。また、次に評価が高かった窪川駅西側と、その次に評価が高かった窪川駅東側の候補地は、両方が使えると、お互いの問題点が解消されるという結果になりました。

3) 第3回審議委員会の結果より

委員から出された主な意見を、以下の資料の内容に沿って説明しました。

■庁舎に併設が期待される施設

運営主体	機能	施設(機能)名称	備考
公営	事務	教育委員会	
	交流・集会	会議室	議会棟と併設
	医療・福祉	子育てサポート機能	保健センターと併設
	交通	駐車場	
	その他	ヘリポート	屋上に設置。医療機関と連携
団体・民営	金融・サービス	郵便局	
		金融機関等窓口	銀行、JA、商工会、森林組合等

■庁舎に隣接が期待される施設

運営主体	機能	施設(機能)名称	備考
公営	文化	美術館または図書館	どちらかを新設して充実 美術館は、町民ギャラリーを含む 図書館は、IT室を含む
		郷土芸能館	文化財の展示と紹介ビデオを放映
	交流・防災	公民館及びレストラン	避難所にも使える多目的ホール レストラン厨房は災害時にも利用 防災倉庫、自家発電室を含む
	公園等	公園・広場	
		体育館・運動公園	海洋センター等
	交通	公共交通集約施設	駅舎・駅前広場、バスセンター等
団体・民営	事務	NPO等事務局	
		森林組合事務所	
		法テラス	弁護士が定期的に駐在
		ハローワーク	I・Uターン希望者の総合窓口を含む
	文化	カルチャースクール	町民の交流と学習の場。スポーツも含む
	観光・産業	地場産センター	四万十町の物産開発室、物産館を含む
		観光案内センター	観光情報の一元化を行なう
	宿泊等	宿初施設(ホテル)	
		結婚式場	結婚式披露宴、宴会(おきゃく)で利用
		ライブバー	町民のステージ(発表の場)
	医療・福祉	老人介護福祉施設	入居待ちが多く、不足している
		病院(診療所)	産婦人科を含む
	サービス	コンビニ	
		喫茶店(カフェ)	障害者の作業所。雇用の場の提供
		書店	

●主な意見

- ・図書館、美術館等の文化施設を充実したい。
- ・公共交通拠点施設等を充実したい。
- ・防災機能を備えた交流施設がほしい。
- ・四万十町の観光・産業をPRできる施設がほしい。
- ・住民活動を支援するセンターを併設したい。 等

4) 第2回・第3回審議委員会の結果より
以下の資料の内容に沿って説明をしました。

■第2回

- ・緑林公園を新庁舎建設地とするには、新しいアプローチ道路建設や運行バスの整備が必要となる。
- ・窪川駅の西側と東側を同時に利用できれば、利便性がより高くなる。

■第3回

- ・新庁舎を計画するにあたり、交通拠点をはじめ、多くの施設を併設・隣接することが必要となる。

以上の点から、新庁舎建設の窪川駅複合案と緑林公園整備案を検討・比較する。

案	図	必要条件	事業費 (万円)	土地取得 の可能性	本道化の 可能性	課題	備考
窪川駅複合案		駅の東西を 結ぶ道路の 設置が必要 条件となる。	45,470 (12,000) 57,470 ※1は道路 通算建設 費。	●敷地予定地は、 町有地とJ A・JR所有地 ともに取得可 能である。 ●周辺整備可能 地の民地及び JR所有地も 取得可能であ る。	可能	●商店街への影響はビジネスニーズと ワーカースニーズ（飲食、娯楽の買い 物など）の両面で高いと考えられる。 ●駅1駅と併せて町の形を形成、鉄道2社 と連携して駅前周辺整備・観光振興上 などの活性化に寄与は大きい。 ●駅の東西の都市特性に合う庁舎と開 発施設を配置することにより、新しい 都市機能が生まれる。 ●併設及び隣接すべき施設は、周辺整備 可能地へ隣接が可能である。	
緑林公園案		新アクセス 道路や代替 駐車場等の整 備が必要条 件となる。	65,900	●民有地(代替駐 車場とアプロ ーチ道路)が未 交渉のため、取 得不可能な場 合がある。 ●敷地予定地に ついては、町・ 農用地である。	可能	●新アクセス道路を建設しても、既存中 心市街地や商店街との隣接性はあまり 強要されず、自然環境性への影響 は期待薄である。 ●駅前車庫内に河川の緑地があり、施設 配置に制限が生じる可能性がある。 ●新アクセス道路の道路勾配は、10%程 度と急こう配で交通弱者には不利で ある。 ●建物は緑林などの自然と一体化がで きるが、造成量が多く緑地を破壊する 側面をもつ。 ●併設及び隣接すべき施設を建設するに は、周辺の緑林公園の敷地の利用が必 要となる。	

※以上の結果から、今回の第4回審議委員会では、候補地(A)の窪川駅複合案について、施設の配置計画を考えました。

【今回のワークショップの内容】

今回（第4回）ワークショップで話し合われた、候補地（A）窪川駅西・東複合案の施設配置のアイデアをまとめました。詳細は以下の通りです。

1) Aグループ



- 主要点
 - ・窪川駅東側と西側の両方に入口を設け、全体としてランドマークとなる庁舎とする
 - ・役場機能は、西側に集約する
 - ・窓口業務を事務棟に集約する
 - ・東側に、観光関連施設を設置し、森林組合などの事務所の窓口業務を集約する
 - ・駐車場は、窪川駅西側と東側のどちらにも設置する
 - ・JRとくろしお鉄道も取り込んだ庁舎とする

2) Bグループ



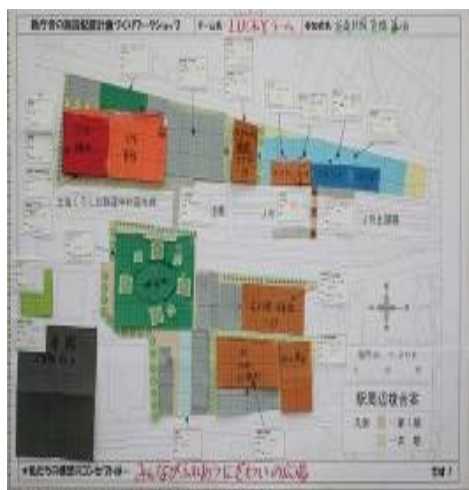
- 主要点
 - ・メイン庁舎は、NTT北側の敷地に配置する
 - ・専用の議会棟は必要なく、多目的ホールとして設置する
 - ・駐車場は、西側に1,000㎡、東側に2,000㎡に分けて配置する
 - ・自由通路は、窪川駅西側の事務棟と東側の駐車場を結び、電線などを考慮して3F高さとする
 - ・地場産レストラン、ホテルを1つの建物に併せ、駅前に配置する
 - ・広場は、災害時に利用できる防災公園とする
 - ・職員駐車場はこの敷地内には必要なく、現庁舎地を利用する
 - ・西側のJR・くろしお鉄道所有地は所得に費用がかかるため、庁舎敷地範囲に含まない

3) Cグループ



- 主要点
- ・事務棟は議会棟を併設し、西側に配置する
- ・事務棟の屋上には緑の屋上庭園を設置する
- ・事務棟南側の駐車場は、年代層別に階を分けて利用する
- ・窪川駅は、西側と東側を結んだ自由通路と併設し、橋上駅とする
- ・保健福祉センターは、保健と福祉の業務を集約し、防災機能も備える
- ・多機能広場は、イベント時や災害時に利用する

4) Dグループ



- 主要点
- ・事務棟、議会棟、保健福祉センターを集約し、西側へ配置する
- ・騒音防止のため、庁舎建物周囲には樹木を植える。ただし、落葉樹は避ける
- ・JRとくろしお鉄道は駅舎を併せ、周囲に観光PR施設を配置する
- ・窪川駅西側の本庁舎と東側の広場を自由通路で結び、行き来できるようにする
- ・職員駐車場は必要なく、現庁舎地を利用する
- ・ヘリポートこの敷地内には必要ない

5) Eグループ



- 主要点
- ・線路をまたいだ人工地盤上に、レストランを併設した事務棟を配置する
- ・本庁舎用駐車場は、庁舎南側に集約する
- ・窪川駅西側のJR、土佐くろしお鉄道の敷地は、庁舎敷地範囲に含まない
- ・ヘリポートは、この敷地内には必要ない
- ・東側に、職員用駐車場を集約する